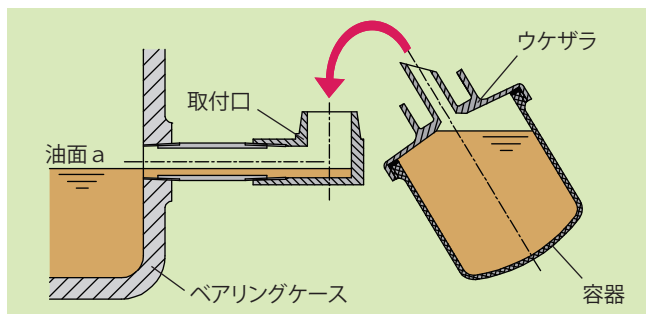


コンスタントレベルオイルの給油方法

- ① 容器を取付口から外し、ベアリングケース上部のオイルキャップ部分より潤滑油を油面 a になるまで給油します。
- ② その後、容器内に潤滑油を入れ、素早くウケザラノズルを下に向けて、取付口に嵌め込みます。
- ③ あとは自動的に規定油面となるようにオイル自身で給油されます。
- ④ 給油が止まれば容器が動かないようにノックで固定して下さい。
- ⑤ 容器内の油面が 1 / 3 程度まで減少したら、再度容器内に補給して下さい。



回転速度	潤滑油
1800min ⁻¹ 未満	JIS K2213 添加タービン油 ISO VG46
1800min ⁻¹ 以上	JIS K2213 添加タービン油 ISO VG32



容器固定後にベアリングケース上部からは給油しないで下さい。
ベアリングケース内の油面が上昇し、ベアリングの発熱や油漏れの原因となります。

コンスタントレベルオイルの作用

- 下図において、油面AとCは同一レベルとなります。
- 容器内は気密になっており、ウケザラノズル部より空気が入らない限り容器内の油面Bは変化しません。
- 油面AとCがウケザラノズル部⑦より下がると、⑦部より容器内に空気が入り込み、油と空気が置換して油がベアリングケース内に流れ込みます。
- 油面AとCが上昇することで⑦部が閉塞して空気の侵入が遮断され、一定の油面が保持されます。

